

平成25年度第19回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成25年11月20日(水)：16:20～

場所：理学部 E210 講義室

講師：梶尾 尚哉 (クロマチン動態数理拠点 特任講師)

演題：核磁気共鳴法？

要旨：タンパク質の立体構造を決定する方法には主として2つの手法がある。ひとつはX線結晶解析法であり、もうひとつは核磁気共鳴法である。X線結晶解析法は、X線をタンパク質結晶にあてた際に生じる回折の位置と強度から元の結晶構造(電子密度)を写し取っているというのがその名称から想像できるのに対し、核磁気共鳴法の場合、多くの人にとってはその名前から色々と想像することは難しいように思う。そこで、本セミナーでは、核磁気共鳴法という名称が意味していることから説明し、核磁気共鳴法が「どうやって」、「何を見て」、「どんな役に立つ」のかを紹介し、「核磁気共鳴法とは磁気の性質を利用して分子を見る手法である」という理解の一助となれば幸いである。